

第3回府中市中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書採択地区選定委員会 議事録

日 時 令和2年7月17日（金） 13：30～18：35

場 所 府中市教育センター第一・第二会議室

出席者 小川美樹会長、小寺和宏副会長、行廣隆宣委員、木谷淳委員、
小野哲生委員、眞田恭行委員、高石元子委員、伊藤弘委員

小川会長：これから、第3回府中市教科用図書採択地区選定委員会を行います。みなさん、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日も前回と同様、教科書の選定をしていただくわけですが、調査員の説明を聞くことに加え、不明な点は質問をしていただき、それぞれの教科書の特徴について協議していただきたいと思います。前回の反省から、どんな些細なことでもかまいませんので、お気づきの点がございましたら、全体に広めてください。よろしく願いいたします。全員で、協議を進めてまいりましょう。それでは、事務局より事務連絡をお願いします。

事務局：失礼します。配付物の確認をします。レジュメ、評定表（資料1）、A4 調査・研究報告（資料2-1）、A3 調査・報告書（資料2-2）、前回の議事録（資料3）です。過不足はございませんか。前回の議事録につきましては、確認していただいて、この会の終了までに書名と押印をお願いします。また、前回お配りしております県の選定資料及び教科書展示に関するアンケート（資料5）についても、目を通しながら、調査研究の報告をお聞きください。

資料1の評定表の社会（歴史的分野）をご覧ください。学び舎の書名が黒塗りにされております。教科書見本の送付は、教科書発行会社の判断に委ねるものであり、無理な送付は求めないようにすることと県からの通知がございます。一番最後のページ道徳の日本教科書株式会社につきましても同様です。本日も評定に入れておりませんのでご理解ください。

本日の会の流れについて説明します。前回と同じ流れで会を進めます。本日は、レジュメにあります6教科について行います。社会につきましては、4種目、地理的分野、歴史的分野、公民的分野そして地図がございます。計9種目です。調査員からの説明を10分間、質疑応答に10分間、選定に係る協議及び評定を10分間、合計1種目の予定時間は30分間としております。予定時間内に評定が終わらなかった種目については、16：40からの時間で再度協議を行っていただきます。

資料1をご覧ください。こちらは、調査研究報告を受け、協議をしていただいたのち、3段階で評価していただくものです。その際の基準についてですが、検定済み教科用図書ということは、どの教科書会社の教科書も文部科学省によって、優れていると判断されたものであるということです。従いまして、評価の基準は、「2」としてください。記入していただくのは、特に顕著な場合の「3」とあまり顕著ではない場合の「1」のみで結構です。

なお、コロナ感染症対策のため、みなさまにはマスクを着用していただいております。前回お声が少し聞き取りにくいことがございました。本日はいつもよりゆっくり、そして大きい声を意識して発言をしてください。府中市の子供たちが使用する教科用図書の選定が厳粛且つ適正に行われるよう、御協力をお願いいたします。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、保健体育科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の①の視点でした。

具体的には、各章に関連する道徳の価値項目が示されている点です。

道徳と関連づけながら、生き方について考え、学んだことを自分自身の生き方につなげることができるところが特徴です。

続いて、大日本図書の特徴について、報告します。

各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の③の視点でした。

具体的には、身につけたい学習内容を見開き左ページの本文にまとめ、本文に対応した資料等を右ページに配置し、本文と資料を分けているというところです。続いて、大修館書店の特徴について、報告します。

各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、大修館書店の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の②の視点でした。具体的には、すべての単元において発展的な学習のための資料が記載されている点です。例えば24ページの「保健の窓」に、「スマホ首と疲労」について掲載しており、自分の生活に関わりのある内容から、生徒が健康について考えることができるようになっています。

続いて、学研の特徴について、報告します。

各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、学研の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の①の視点でした。具体的には、各単元に「学習の目標」から「まとめる・深める」までの1時間の流れが示されている点です。1時間の授業の流れが分かりやすく、見通しを持ちながら授業に取り組むことができます。

以上で、保健体育科の教科用図書調査報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

小寺副会長：東京書籍の第2の観点について、道徳の価値項目が記載されていることは、大切な部分となりますか。

調査員：大切な部分となると思います。127ページ「健康と環境」の右側の下のところに、道徳の価値項目「社会参画」と「公共の精神」と記載されています。授業にて、道徳の視点に関連づけて、健康について考えることができると考えます。

小寺副会長：東京書籍には以前から道徳の価値項目の記載があったのでしょうか。

調査員：把握できていません。

伊藤委員：東京書籍の第2の観点について道徳の価値項目との関連が書かれていますが、他の教科書会社でも他の教科等の関連について記載がありますか。

調査員：他の教科との関連について書かれています。例えば、大修館書店だと、1ページの下にあるような「他教科」のマークがあります。

木谷委員：2点質問をします。1点目は、大修館書店で最も特徴的なものとして、第3の観点の②、発展的な学習のための資料が記載されていることを挙げられていました。調査報告書では、他の会社にも発展的な学習の内容の記載があることが明記されていますが、大修館書店についてこの部分を最も特徴的な点とあげた理由を教えてください。

2点目は、各社の目次を見ていると、東京書籍は保健、体育の順で構成されています。他の3社は体育、保健の順で構成されていますが、そこに理由や良さがあるのか、教えてください。

調査員：1点目についてですが、大修館書店の24ページに「スマホ首と疲労」の資料があります。現在、多くの中学生がスマホを所持している現状において、身近な話題から健康問題について考え、自分の生活を振り返り、健康的な生活につながる資料であると思います。

2点目ですが、授業を進めていく中で特に影響はないと考えています。

行廣委員：学研について、第1の観点が最も特徴的だと説明を受けました。1時間の授業の流れが示されていることについて、ご自身が授業をするときに、授業の流れが示されているのと示されていないのと、どちらが授業がしやすいと思われますか。

調査員：子供目線で考えると、授業の流れが示されている方が授業の見通しが持てるのでよいと思います。教師の立場で考えると、指導の参考にすることができると思います。

高石委員：東京書籍の第2の観点の②では、課題の設定だけでなく、まとめまで

が設定されています。調査報告書にて他社については、「課題が設定されている」という表現にとどまっていますが、東京書籍の課題解決の学習過程について、他社との違いがありますか。

調査員：特に違いはないと考えます。

小野委員：二次元コードはありますか。

調査員：東京書籍にあることは確認できています。東京書籍には、1ページにあるようなDマークがあり、読み取ると動画を見ることができます。動画は言葉では伝わらないことを伝えることができるので効果的であると思います。

眞田委員：学研は1時間の流れが示されていますが、1時間の授業はここまでということが決められているのでしょうか。時間があまったりしたらどうされるのですか。

調査員：基本的には、1単元を1時間で実施しています。内容によっては2時間以上かけることもあります。

眞田委員：他の教科書は、1時間の授業の流れについて、記載されているものはないのでしょうか。

調査員：記載されているものもありますが、学研がものが一番わかりやすいと思います。

小川会長：その他質問はありませんか。

調査員の方、ありがとうございました。

これより調査員からの報告書をもとに、協議を行います。みなさんから意見をいただければと思います。

伊藤委員：東京書籍の道徳の関連について報告がありました。東京書籍は、道徳に限らず、他教科との関連や、保健の他学年の学習内容との関連などが示されているので、カリキュラム・マネジメントの視点において有効であると考えます。

小寺副会長：教科等横断的な学びを行っていく上で、他教科等との関連が整理した教科書は便利であると思います。

伊藤委員：どの会社も、保健の小学校、中学校、高等学校のつながりは明記されていますが、東京書籍は他教科等とのつながりが充実しているように思います。

木谷委員：東京書籍の二次元コードを読み込みましたが、動画資料が充実していました。1ページの二次元コードに集約されていて使いやすいと思います。

行廣委員：先ほど質問した、学研の1時間の流れが示されている点について、流れが示されることで授業が硬直化しないか、授業が予定通り進まなかったときにどうするか心配でした。調査員の報告にあったように、授業づくりの参考にするということであれば、それほど支障はないと思いました。また、東京書籍は、巻末資料が充実していると感じました。

小川会長：他の教科書会社についてはいかがでしょうか。

木谷委員：先ほど質問した大修館書店の第3の観点②、発展的な学習の資料についてですが、どこの教科書会社も充実していると思います。いろいろな資料を、いろいろな視点から掲載していると思います。

高石委員：教科書選定の主たる観点が、第2の観点の「主体的な学習に取り組むための工夫」で、そこを特徴的だとあげてきたのが東京書籍でした。課題解決に向けても多彩の資料や、動画も充実しており、他社とは大きな差異があると思います。

小川会長：その他、意見はないでしょうか。

それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、理科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、第1学年の134ページに見られるFrom Japanという読み物があります。「再結晶」は薬に使用される物質の純度を上げたり、溶けやすさの管理をしたりする時に必要とする技術であることを紹介しているなど、身近にあるものに科学が利用されていることを紹介しているというところでした。

続いて、大日本図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、大日本図書の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、第3学年の156ページに見られる「単元活動」の課題を見つけて探究しようで、身の回りの生物同士がつながっていることを考えるための計画を立てたり、まとめたことを発表したりするなど、探究活動のやり方を順番に説明したりしているというところでした。

続いて、学校図書の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

さらに、学校図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、第2学年の49ページに見られる「探究6」の金属と結びつく酸素の質量で、課題に気づき仮説を立て、実験計画、実験、結果、考察、振り返りという探究活動の一連の流れを図やグラフを使って丁寧に説明されているというところでした。

続いて、教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、第1学年の教科書の巻頭の探求の進め方「さあ、探究を始めよう！」で疑問を見つけ、課題を決め、仮説、計画を立て、実験観察の測定の仕方、考察や結論を出すという一連の探究活動の流れを詳しく説明しているというところでした。

続いて、啓林館の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

さらに、啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、第2学年の121ページのコラム「お仕事ラボ」において、天気予報士の仕事や仕事の魅力をインタビュー形式にして紹介したり、247ページの「お料理ラボ」において、温かいご飯を省エネで食べるには炊飯器よりも電子レンジを使った方が消費する電力が少なくて済むなど、生活に密着した話題を取り上げたりしているというところでした。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

小寺副会長：理科の教科書は、縦長の教科書と横長の教科書に分かれますが、扱いやすい方がある等、考えられることはありますか。

調査員：東京書籍の教科書は縦長で持ちやすいです。タブレット授業に縦長の教科書は対応しています。タブレットの向き等を意識して縦長に作られていると聞きました。

小寺副会長：この教科書は、スマホの画面の比率に似ています。中身の配列も、今までの教科書だと、右へ左へ目が行きましたが、流れが縦に配置され、見やすい感じがします。スッキリしたイメージがあります。

小寺副会長：どの教科書も実験は同じようなところを扱っていますか。

調査員：そうです。

木谷委員：第3の観点について教えてください。啓林館以外の4社については、第3の観点①に「指導時期にあわせて、1分野・2分野を配列している。」と同じ記述があります。啓林館のみ「2分野・1分野の順で配列している。」と表現が異なりますが、他の4つの共通点や違い、良さや特徴はありますか。

調査員：中学校の理科は、物理と化学は1分野、生物と地学は2分野となっています。年間を通してすべてを学ぶという形になっています。啓林館を除く4社は1分野・2分野が交互に掲載されています。啓林館だけは2分野の内容を先に掲載し、1分野を後から掲載しているという順番になっています。

木谷委員：実際に使われる上で、使い勝手のよさはありますか。

調査員：植物の学習であれば、春の花が咲いたり実がなったりする季節に、実物を実験で使うことができるように、教科書の最初に掲載しています。しかし、学校の教育課程によって扱う内容が違うので、それに合わせて教科書の指定のページを使っています。

木谷委員：配置は特に気にしなくてよいということですか。

調査員：そうです。

高石委員：第2の観点が特徴と言われた東京書籍と学校図書と啓林館について教えてください。科学的に解決するという探究活動については、いろいろなスキルがいると思いますが、3社について特徴があれば教えてください。

調査員：探究活動をする際に、「さあやってみよう」と子供たちに提示しても、「何をすればいいの」となると思います。どういう順で探求していくかという探究活動のやり方・流れを説明している教科書は、学校図書や教育出版です。東京書籍は、身の回りのものが科学に生かされているというコラムを多数掲載し、子供たちの活動意欲を喚起しているのが特徴です。

伊藤委員：安全にかかわって質問をします。理科は実験等、子供たちの安全を守っていくことが必要だと思います。啓林館の2年生の教科書136ページに「実験を正しく安全に進めるために」という安全にかかわることについてまとめているページがありますが、その他の教科書にも、このようにまとめている等、特徴はありますか。

調査員：どの教科書にも実験を安全に進めるためのポイント等は、掲載されています。ただ、その取り上げ方として、啓林館のように、大きく取り上げているところとそうではないところもあります。

小野委員：理科は、主体的に興味を持って取り組むことが大切な教科ですが、大日本図書の第1の観点と教育出版の第5の観点の特徴を具体的に教えてください。

調査員：どちらの教科書も子供の興味を持たせるようなものは載っています。大日本図書の1年生の177ページに、コラム「科学の足跡」として、ニュートンの紹介が掲載されています。教育出版は、1年生の125ページに、ハローサイエンスというコラムが掲載されています。海水から塩を取り出す昔からの方法が掲載されています。子供たちが知らないようなことも詳しく掲載されています。

小川会長：では、調査員の方、ありがとうございました。
これより、協議を行います。調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

小川会長：それぞれの教科書会社を比較したとき、第2の観点、主体的に取り組ませる工夫としてコラムがどの教科書も掲載されているので、あまり差異が見いだしにくいです。一方、安全に関しては、啓林館が大きく取り上げてまとめられていて見やすいと感じました。

木谷委員：観点3の配列のところで質問しましたが、そこも大きな影響がないと回答されました。東京書籍の縦長のスタイルは斬新であると感じました。大日本図書は373ページで飛び抜けてページ数が多いです。実際に、教師が扱う上でページ数の差はどうかと感じました。

眞田委員：第5の観点で、どの教科書も勉強の取り組み方を示しています。それに加えて、学校図書は、課題の探究の進め方を示しています。一番最後にアイデアボードがあります。ホワイトボードみたいに活用できそうです。探求のまとめに活用できると思います。

小寺副会長：東京書籍の二次元コードに接続したときにおもしろいです。空間認

識能力など、子供たちに育成したい力を教科書だけで教えるのは難しいですが、教科書で補えないところを二次元コードで補うことができます。黒板に書くだけでは理解しづらい部分もありますので、有効に活用できると思います。

行廣委員：科学的に探究する力の育成を図るという視点で教科書を見ました。各社、課題発見、仮説、検証、観察、実験、まとめ、振り返り、考察などのパターンが示されています。それぞれの教科書で表現が違ってきます。イラストなどで表現し、子供たちに取り組みやすくしている教科書もありました。啓林館の2年生の305ページには、振り返りを問いの形で書かれているのは子供たちにわかりやすいのではないかと思います。一目見たら学習の流れが分かるのはおもしろいと思いました。東京書籍はイラスト中心で子供たちにはわかりやすいと感じました。

小川会長：それでは、時間も過ぎていきますので、評価は後ほどご記入下さい。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、美術の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

まずは、開隆堂の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点③

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点①でした。

具体的にいうと「1学年の巻頭では、図画工作科とのつながりや、美術を学ぶ意義や目的を意識させる内容ではじまり、2・3学年の終末では美術の学習を通して培った見方・考え方や感じ方を生かして、これからの生き方や未来について考える構成になっている」というところでした。

具体例として、1学年4ページをご覧ください。

ここでは、見開きになっている「図画工作から美術へ」という内容で美術科の図画工作科とのつながりを示しています。また、次の6～7ページをご覧ください。ここでは「学びの地図」と題し、これからの3年間の学びに期待感がもてる構成になっています。

さらに、2・3学年92ページをご覧ください。

見出しで、「美術の力をいかして社会とかかわる」という内容になっています。ここから12ページにわたって、4つの題材を通して美術で学んだ見方・考え方や感じ方を生かして、これからの生き方や未来について考える構成になっています。

開隆堂の特徴は、このように1学年の入口である教科書の巻頭で図画工作科との教科のつながりを感じさせ、3年間の見通しをもたせていること。これは小中一貫教育9年間の視点が含まれています。また、その学びであります、見方・考え方や感じ方が卒業後も社会で生きてくるということを12ページに渡って4つの題材で考えさせる構成となっており、これは、社会に開かれた教育課程につながっているという点です。

以上が開隆堂の特徴になります。

続いて、光村図書の教科書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点②でした。

具体的にいうと「一つの題材の中で表現と鑑賞のアイコンを掲載し、相互に関連した学習の流れを示している。」ところでした。

美術科では、新学習指導要領の解説にありますように、表現と鑑賞の指導の関連を図ることが求められています。表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させることにより、美術科で求められる資質・能力が一層深まるといわれています。

「制作させて終わり」ではなく、制作の前に鑑賞をさせることで、生徒が自ら作品づくりのヒントを得られる、つまり、主体的に制作することができるということです。

これは、教師が一方的に「今回はこれを作ります」といきなり制作をはじめたり、「こうしなさい」と表現方法押し付けたりするよりも効果があります。

光村図書では、このように表現と鑑賞が一つの題材の中でスムーズに関連する授業の流れが分かる紙面構成をしています。

それでは具体例として、1学年22ページをご覧ください。

光村図書では、題材のはじめに必ず鑑賞の作品を掲載しています。

オレンジの鑑賞マークをご覧ください。ここでは、鑑賞の際に生徒同士の対話や、表現のヒントになるような気付きが生まれるような鑑賞が深まる「問い」を示し

ています。例えば、ここでは「作者はこの風景のどこに心がひかれたのだろうか、想像してみよう」。この鑑賞を通して、さらに発想を深めるための手立てを紹介したページが、次の23ページです。ここに、より具体的に制作のイメージをつかむためにヒントとなるような視点が掲載されています。次のページをご覧ください。実際のところ、どのように制作したらよいか、一番中学生が困るところですが、それも丁寧に写真と生徒の言葉を関連させながら、段階を追って紹介しています。1名ではなく2名の生徒の制作過程を段階を追って詳しく紹介するページが次のページにあります。

さらに、題材の最後に鑑賞を位置づけています。表現活動の後にもう一度鑑賞をさせることによって、作品や作者の言葉を鑑賞することでより学びが深まる構成となっています。教科書通りに学習を進めていくと、自然と生徒が自ら主体的・対話的で深い学びを実感できるような構成になっています。以上が光村図書の特徴です。

最後に、日本文教出版の教科書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点①の視点でした。具体的にいうと「家庭に作品を持ち帰って使ったり、地域の施設などの展示を通して、学校での学びを地域の方に伝えたりする事例や、地域の方と協働して活動する事例が多数掲載されており、美術科における社会との連携が示されている」というところでした。

それでは、実際に地域の方々と関わる活動の事例を紹介します。

1学年の教科書44、45ページを開いてください。ここには、「印象に残るシンボルマーク」という題材が載っています。44ページの下を見てください。ここには、「地域のマークを調べてみよう」にあるように、自分の住む地域やいろいろな地区の「都道府県章」「市町村章」について調べて話し合うことを促すような内容が示してあります。たとえば、授業の導入で都道府県や市のマークだけみせて、どれがどの県や市のマークか考えさせる活動を仕組むことで、おのずとそのマークのデザインと意図や表現の工夫について理解を深めるきっかけがつかれるようになっています。

また、45ページをご覧ください。「自分や身近なもののマークを考えよう」では自分や地域など、身近なものを表すマークを制作する活動が紹介されており、つくったマークが地域で紹介できるような例が示してあります。ここには、日南

市の観光マップで使う例が示されています。

次に2・3学年下の40、41ページをご覧ください。

ここでは、「動きを生かして印象的に」の題材が載っています。例えば、学校紹介ムービーやコマ撮りアニメーションでCMづくり、プロジェクションマッピングを使つての校内掲示をする例などを示しています。

美術の学習で学んだことを、普段の生活や社会に結び付けられるような事例が紹介されています。

最後に、50、51ページをご覧ください。「さまざまなアートに触れよう」のページですが、その一番下「共同で作品を展示しよう」の中に、地域の中での作品展示例が多数紹介しています。

このように、日本文教出版の特徴は、生活や社会との関連、社会に開かれた教育課程を意識した作品例や事例を多数紹介しているところです。

以上で、美術の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

小野委員：光村図書は、開隆堂と日本文教出版のように、社会との関連が示されたところはないのですか。

調査員：ないわけではありません。光村図書の特徴は、先程報告しました「表現と鑑賞の一体」が一番大きくあるので、そこが紹介しきれていないだけです。

例えば、2・3学年の70・71ページをご覧ください。地域の魅力をつたえるという題材があります。すでにある製品のパッケージの工夫を鑑賞して、自分の地域では、地域の良さが伝わるような魅力的なパッケージにするには、どのようにしたらよいだろうかを考えられるような題材があります。ほかにも、1学年の44・45ページをご覧ください。こちらは、文字を楽しく伝える絵文字の題材です。すぐに作り始めるのではなく、都道府県の絵文字を観光タイポグラフィポストカードを紹介して、地域のよさが伝わるような絵文字の特徴を鑑賞して、自分の地域だったら、どのようなものができるか、表現にもつながるような構成になっているので、光村図書が地域との関連性や社会に開かれた教育課程を意識していないわけではありません。他にも特色がたくさんあったので、紹介しきれなかっただけです。

高石委員：光村図書で、新学習指導要領で求められている力が明確に込められているのは伝わりました。主体的な創造活動という面で、光村図書の素晴らしさはよく分かりましたが、開隆堂と日本文教出版について、主体的な創造活動の面に

ついて、何か特徴があれば教えてください。

調査員：日本文教出版は、1学年の16・17ページをご覧ください。16ページの一番左上に、表現と鑑賞が重なっているマークがあります。こちらも今回の学習指導要領で示されている、表現と鑑賞が一体化を意識されたものになっています。また、鑑賞がしやすいような作品の大きさであったり、表現がしやすいような表現のポイントを明確に示されているので、こちらも同じく、表現と鑑賞の一体化をねらっているような教科書になっています。また、主体的にという面というと、観点4の①で示しているように、製作過程の写真で指導途中や終末で相互鑑賞やプレゼンテーションの写真を多数掲載されております。2・3学年下の39ページをご覧ください。例えば、先程のパッケージのデザインにつながりますが、これもただつくるだけではなく、パッケージについて調べる活動、企画書を作成する活動、最後に自分のイメージや構想を発表し合うプレゼンテーションの進め方も具体的に示されています。また、紙面の構成のメリハリがつくような、雑誌をめくっているような、興味がひかれるような、たくさん目にとまるようなレイアウトになっているので、主体的に学ぶための工夫が施されています。

もう1点というと、1年の32、33ページをご覧ください。光村図書も同じように屏風絵を見開きで見るページはありますが、屏風絵は立てて見るものなので、実際に立ちやすいように他のページよりも少し厚い紙を使用している工夫も施しています。光村図書に戻りますが、2・3学年の「最後の晚餐」を鑑賞するページがあります。これは、国語の教科書にも取り上げられ関連する内容になっていて、本当に消失点があるのか、トレーシングペーパーを重ねて、定規で引いて、学びが理解できるようなつくりになっています。

小川会長：では、調査員の方、ありがとうございました。

これより、協議を行います。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

木谷委員：光村図書の1年生の24ページ「表現 みんなの工夫」がありますが、これは調査報告書の第4の観点で記載がありますように、2名の生徒の学習活動の過程を作者の言葉とともに示されています。やはり、どういう風に考えていけばよいのか、つまずきがある子供には、実際に子供目線で作られているので、参考になると思います。他の2社でも同じような工夫を探してみたのですが、工夫はしていますが、このような同じ目線で、クラスメイトに「ここはどのように描いた？」や「ここはどのように見たらよいの？」とか質問をしながら授業を進めることができる点は、工夫点として子供たちの学びに寄り添う内容だという印象

をもちました。

小野委員：生徒が主体的に学ぶことが重要なので、光村図書の鑑賞・制作という流れは、主体的に学ぶという面でよいと思います。どの教科書もそのようになっていると思いますが、今の子供たちに「はいどうぞ」と言っても、「何をどうするのか？」というところもあると思いますので、一度、鑑賞してから表現するという流れがよいと思います。

眞田委員：美術は、絵を見るにしても、制作するにしても、目から入る情報がたくさんあるのがよいのかと思います。各社の写真の多さを比べましたが、光村図書や日本文教出版は写真が多いなと思いました。

行廣委員：確かに光村図書も日本文教出版も作品の件数が多いという印象です。開隆堂は、構成がすごいという印象です。どこからでも主体的に学習に取り組むことができる工夫がされています。1学年10ページに「見ることからの発見」が一番最初にあることが、鑑賞にしても表現にしても美術はみることからはじまるということが伝わるのが、すごくいいと思います。三社三様で、どの教科書会社もいいと感じました。

小川会長：それでは、調査報告や協議を元にして、後ほど評価表にご記入ください。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、「特別の教科 道徳」の教科用図書の調査報告をします。よろしくおねがいします。

まずは、「東京書籍株式会社」の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、1年生の66ページに「心に郷土を刻もう」という教材で、広島宮島の内容を取り上げるなど、郷土の一員とし

での自分を考えさせるようにしています。「小中一貫教育」の視点では、付録の教材の中で、小学校道徳科で学習した教材を再度掲載し、小学生で学習した教材を、中学生になってから再度読むことで、自分にどのような変化や成長があるかを確認できるようにしています。1年180ページに「橋の上のおおかみ」という教材が載っています。さらに、「東京書籍」の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点でした。具体的には、「道徳科の学び方等の示し方」です。全学年の巻頭に、道徳の授業のオリエンテーション教材があることです。巻頭折り込み3ページにわたって、ショートストーリーを基に学習の流れをわかりやすく解説し、自分の考えを書く欄を4か所と振り返りの欄を1か所設けている、というところでした。

続いて「教育出版株式会社」の特徴について、報告をします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、巻末の補充教材で、「地域の発展」「社会貢献」などについて考える教材を掲載しています。これらは郷土資料や自作教材と差し替えて弾力的に使用することができるようにしています。「小中一貫教育」の視点では、中学校での学習にスムーズに移行できるように、第1学年の1から10までの教材は本文の文字を大きくし、読みやすくしています。さらに、「教育出版」の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点でした。具体的には、「考えを伝えあう活動の工夫」です。教材の冒頭に導入の文章を設けていることです。例えば3年生の86ページに「日常生活での経験を問うもの」「道徳的諸価値の意味や意義についての、今の考えを問うもの」「類似した場面での判断や行動を問うもの」などの問いを示し、学習の方向性を全体で共有することで対話的な学びを深めていくような工夫がある、というところでした。

続いて「光村図書出版株式会社」の特徴について、報告をします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、「つなげよう」で日常生活の関連や他教科との関連を示し、さらに深く考えたり、自分の生活につなげられるようにしています。「小中一貫教育」の視点では、第1学年の授業開きの教材の後の第2

教材に、小学校の学校生活との違いを考えられる教材を掲載しています。具体的には1年生の10ページには、「中学生になると、小学生の時より、さまざまな場面で、自分で決めることが増えてくる。」のような表記があります。また、全学年の補充教材として小学校での道徳での定番教材を掲載し、小学校の道徳の学びと連携し、深い学びにつながるようにしています。1年生では「橋の上のおおかみ」、2年生では「泣いた赤おに」、3年生では「手品師」が載せてあります。さらに、「光村図書」の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点でした。具体的には、巻頭の表し方です。各学年の目次では、すべての教材名をシーズンごとのまとまりで色分けし、「学びのテーマ」に応じた複数のユニットに下線を引き、テーマを教材名の下に示しています。また年間に4か所、複数時間で取り組む教材を色で囲んで示している、というところでした。

続いて「日本文教出版株式会社」の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点②

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、地域の歴史から、未来につなげていくために郷土との向き合い方を考えさせるようにしています。全国各地の魅力的な題材が教材・コラム化されており、生徒が興味を持って学習できるよう工夫されていました。生徒が自分たちの地域の魅力を発見し発展に尽くそうとする意欲が育めるように配慮されています。広島に関係ある教材としては、1年生の104ページに多文化の理解を深める教材、2年生の64ページに地域の伝統の大切さについての教材、3年生の176ページに規律ある社会など、広島に関係ある教材が掲載されていました。「小中一貫教育」の視点では、キャリア教育の理念に配慮した小、中、高等学校などの校種間連携について、教材の選定や配列において工夫されていました。例えば1年生の82ページ「私らしさって何？」が、3年生の170ページに掲載されている「サトシの一票」の教材へとつながるといえるところ。さらに、「日本文教出版」の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点でした。具体的には、教材の内容を理解させる工夫として、マークを示しているところ。目次及び教材名の右横、また別冊「道徳ノート」の教材名の右横にマークを使い、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」を扱う教材を示している、というところでした。

続いて「株式会社学研教育みらい」の特徴について、報告します。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、被災地復興に向き合うことから、郷土のためにできることを考えさせるようにしています。具体的には1年生の教科書50ページの「壊れた掲示板」があげられます。さらに、「株式会社学研教育みらい」の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点でした。具体的には、巻頭の示し方です。各学年の目次では、4つの視点で色分けしたマークとともに教材名を示しています。SDGsに関連している「地球と地域の未来のために」や「夢に向かってともに輝く」のユニットにテーマごとに色で囲み、マークで示してあります。具体的には、1年生の教科書5ページ・目次に「地球と地域の未来のために」というユニットに「オーストラリアのマス川」と「トキのいる里をもう一度」という教材があり、それぞれ視点を変えて考えられるようになっています。一方、「夢に向かって輝く」のユニットではイチローの立場からと、イチローのクラブを作った人、つまり支える人の立場から考えられるようになっています。そしてこのような構成が1年生から3年生までである点が特徴的でした。

最後に「あかつき株式会社」の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②が特徴的でした。

「社会に開かれた教育課程」の視点では、全ての学年において「持続可能な社会」についての自分とのかかわりで考えることのできる特集ページを設けています。例えば、1年生では42ページ、2年生では162ページ、3年生では158ページがあげられます。「小中一貫教育」の視点では、学年段階を考慮して、第1学年は全ページ文字サイズを大きくしています。比べてご覧ください。さらに、「廣済堂あかつき」の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点でした。具体的には、「考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫」です。別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、伸ばしていきたいことや今後の目標についての振り返りを書く欄と、教材ごとに学習の振り返りをチェックする折り込みのページを設けてあります。以上で、「特別の教科道徳」の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：ありがとうございました。それでは、今の調査報告を受けて調査員に質問はございませんか。

小寺副会長：SDGsの関連が一番強く出ているのは、あかつきの教科書でよろしいでしょうか。あかつきは特集のページが設けてあります。

調査員：どの教科書も取り上げてはいますが、あかつきと学研がよく取り上げています。

小川会長：その他ありませんでしょうか。

調査員：日本文教出版には道徳ノートがあるのですが、今回は比較的自由度が高いノートの様式になっています。現在使用しているものには、問いが書いてありますが、今回は授業の際に考えて作れるようになっています。

木谷委員：別冊がついているのは、あかつきと日本文教出版の2社ですよね。ですが、あかつきと日本教育出版では別冊ノートのコンセプトが違うようにみえます。あかつきの方は追加資料があり、記述する面では学習の記録を書く欄があるのでノートのような物としてとらえて良いですか。

調査員：はい。

木谷委員：日本文教出版の道徳ノートについては、先ほど使い方を説明して下さったのですが、あかつきの別冊ノートは具体的にどういった使い方をするのですか。少しイメージがつきにくいので教えてください。

調査員：ノートのはじめにある資料をどのように扱うのかという話は、調査委員会の方でも行いました。

木谷委員：掲載してある資料の一つひとつが短いと思いますがどうでしょうか。

調査員：はい。付け足すぐらいの教材です。振り返りや、復習の際に見ると考えております。

木谷委員：分かりました。ありがとうございました。

小川会長：その他、よろしいでしょうか。

小野委員：取り上げるのが難しいのですが、いじめに関する部分が一番気になります。SNSによるいじめや誹謗中傷は、学研の1年生の24ページには確認できるのですが、SNS関係は他社でも取り扱っていますか。

調査員：全社あると思います。

小野委員：わかりました。

小川会長：調査員の方、ありがとうございました。これより、道徳の協議を行います。それぞれの教科書会社の特徴についてご意見いただければと思います。

行廣委員：道徳のねらいを考えた時に、教科書を学ぶのではなく、教科書でどのような力を見につけていくか、生活化していくのかという点が重要に思います。第3の観点の中の「社会に開かれた教育課程」に注目して見ていったところ、日本文教出版や、光村図書、教育出版、学研は、より「地域の未来に繋げていく」という言葉や、「自分の生活につなげられる」「地域の未来・発展・社会貢献」といった言葉が出てきているように思います。今はこのようなことが求められるために、出てきているように思うのですが、その中でも「自分の生活に繋げられる」という部分がまとめられているのは光村図書で、道徳のねらいと合っているように思いました。

高石委員：教材を全部読んでいないので、なんとも言えないのですが、道徳というのは価値の押しつけになってはいけないと思います。それを考えた時に、光村図書の第1の観点の①にある「道徳で何を学ぶの？」は1年生から3年生まで掲載されており、道徳はどういうことをする教科なのかという点を非常に分かりやすく学年に応じて示されています。このように最初に示してあるということは、道徳はこのようなことを学ぶものだということを理解するために、生徒だけでなく教師にとっても良いのではないかと思います。主体的に道徳に臨むという姿勢がここで得られると思います。対話的な道徳、考える道徳という観点からすると、この光村図書の第5の観点も非常に対話的で、考えを深めて、しかも違う意見の中からよりよい意見へとまとめていくという方向性が出ているのでよく考えられていると思いました。

小川会長：時間も迫ってきましたが、眞田委員いかがでしょうか。

眞田委員：別冊があるものの方がいいと思いました。日本文教出版の別冊はそれぞれ

のテーマに沿って書きやすくなっているという印象を受けました。あかつきは記録をするようなノートになっているように感じるので、日本文教出版が良いと感じました。

小川会長：時間も来ておりますので、次の報告に移りたいと思います。英語について調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：これから、教科用図書調査委員会の報告を致します。よろしくお願ひ致します。

ご準備頂くのは、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の各教科書と調査研究報告書です。なお、本日の報告に際しまして、例示は主に1年生と3年生の教科書で行いたいと思います。

まずは、東京書籍の教科書の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点②

東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点①の「内容の構成・配列・分量」です。

例として、東京書籍の1年生の教科書4ページから8ページをご覧ください。他社も小・中の接続を意識したページが教科書の最初の部分に設けられていますが、東京書籍は、UNIT学習に入る前のUNIT0が2時間分設けられています。12ページ、13ページ及び14ページ、15ページをご覧ください。UNIT0の後は、UNIT1から学習が始まるのですが、小学校の学びを生かした「聞く」「話す」活動を中心に進められます。見開きの最初が小学校で学んだ表現を活用しての「話す」活動です。UNIT1～5まで、このような形で小学校の学びを中学校に丁寧に接続するための構成となっています。他のページでも同様の特徴が確認できます。見開きの隣のページが、「聞く」「話す」という活動、これが特徴的なものになっております。

次に、開隆堂の教科書の特徴について各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の①の視点「興味・関心を高めるための工夫」です。大きな特徴として、新出表現をマンガ形式の短い対話で示していることがあげられます。

例として、開隆堂の1年生の教科書の22ページをご覧ください。小学校で慣れ親しんだ、「場面を表す絵（マンガ）を見ながら、やり取りを聞く」活動を通して、新出表現を学んでいきます。マンガで示すことにより、新出表現が、どんな目的・場面・状況で使われるのか、より明確に、視覚で理解することができます。また、ご覧になっておわかりのように、この1ページで複数の言語材料をまとめて学ぶことができます。言語材料をまとめて学ぶことで、内容が整理でき、理解が深まったり、自然な場面設定が可能になったりするメリットもあります。日常における自然な場面設定で使われる表現を、生徒が楽しみながら主体的に学んでいけるようになっているのがこの教科書の特徴です。

次に、三省堂の教科書の特徴について各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②

三省堂の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点②の「基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫」です。

例として、三省堂の3年生の教科書8ページをご覧ください。新出文法を8ページのPOINTで理解したのち、9ページのDRILLでドリル演習することができます。また、9ページではListen（聞くこと）、Speak（話すこと）、Write（書くこと）と、基礎的・基礎的な知識・技能を身に付けられる内容になっています。次のページの10ページから11ページでも同様の流れで知識・技能を習得し、12ページからの身に付けた力を活用して、読むこと、13ページではスピーチをすることなど、発展的な活動ができるようになっているのが特徴です。

次に、教育出版の教科書の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②

教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点①の「巻末等資料の工夫」というところです。

例として、教育出版の3年生の教科書121ページをご覧ください。巻末資料として多種多様な資料が準備されています。122ページでは、2年生までに学習した文法を生かしたQuestions & Answers、123ページでは即興のチャットやスピーチの材料、124ページからは、3年生で学んだ文法を活用した活動に、段階を追って取り組めるようになっています。また、132ページからは英語学習における基本事項の確認のページが続きます。これらの巻末資料は、付属の赤シートを使って、個人で暗記に活用したり、隙間時間で文法を確認したりと、自律した学習を促す効果も期待できることが特徴です。

次に、光村図書の教科書の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点①の「興味・関心を高めるための工夫」というところです。例として、光村図書3年生の教科書の教科書21ページをご覧ください。単元の扉でタイトルや絵・写真、音声やスライドアニメで題材の興味づけを図ります。また同時に、ストーリーの話題を予測したり、ストーリーのおおまかな内容をつかませたりして、生徒の「読んでみたい」という興味関心を引き起こします。ストーリーの展開を楽しみ、共感しながら、「自分だったらこう言いたい」という効果的な表現力の育成につなげていけるのが特徴です。

最後に、啓林館の教科書の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点②

啓林館の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点②の「4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の工夫」というところです。例として啓林館の3年生の教科書8ページをご覧ください。アイコンマークでご確認いただけますが、「読む」「聞く」「話す」「書く」という技能を全て満たしています。Part 1から3まで同じように4技能を活用できる構成になっています。また、各Unitの最後に、Unitのテーマにそって自分自身のことを表現し、グループやクラスで発表・やり取りができるページが設定されています。これにより読む、話す（発表・やり取り）、聞く、書く、の4技能5領域を統合的に活用できる内容になっているのが特徴です。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

小寺副会長：新出の英単語をより丁寧に取り組んでいる教科書は、どの観点をみればよいですか。最近、単語の綴りが正確に書けない生徒が多く、中学校3年生になっても書けないことが多いので、文法や英文の単語の並びの善し悪しは話に出ますが、基本的なところを丁寧に記載している教科書を教えていただきたいです。

調査員：どの教科書にも巻末にワードリストという資料はついています。新出単語については、記述があつたりなかつたりはあります。授業の中でどのように新出単語を扱っていくかがポイントになってきますが、単語に関しては、ほぼ全ての教科書がきちんとした取り扱いをしています。

小寺副会長：学校が宿題などで定着をさせるかという問題ですね。

小川会長：新学習指導要領の最終的な子供たちの姿として、即興で5分程度のやり取りができる力が求められていますが、即興でもやり取りをつけさせていこうという特徴的な教科書があれば教えてください。

調査員：各教科書で、共通しているところではありますが、どの教科書もユニットの最初に扉のページがあつて、それを見ながら質問があり、“What do you know?”「何を知っていますか」などやり取りをして、生徒同士で話をするすることができます。“Can you find in the pictures?”「この中で英語の単語を見つけられますか。」これらを見て、即興でのやり取りができるようになっていきます。各教科書がユニットのはじめに、扉の写真を用意していて、何らかの簡単な質問を投げかけています。これを活用して

即興的なやり取りをすることが可能です。全ての教科書にあります。ただ、資料としてスモールトークや即興のやり取りの資料が準備されているのは光村図書と教育出版です。光村図書は、L e t ' s T a l k という、その場でのスピーキングやスモールトークのような専用の帯活動でも使える資料があります。教育出版は豊富な巻末資料の中に即興的のチャットやスピーチに使える資料があります。その2社は付属の資料があります。

小川会長：新学習指導要領では、中学校段階からオールイングリッシュでの指導ができるような力を小学校段階から付けていくという方向が出されていたと思いますが、指導方法に対する各社の教科書の特徴があれば教えてください。

調査員：特に顕著な特徴があるわけではありませんが、各社に共通して言えるのは、視覚的な資料が豊富に使われていて、先生が英語で話をしていても、どのことが示されているのか、何を言っているのかわかりやすく、構造的な教科書のつくり方になっています。なおかつ、いろいろな資料が豊富に準備されているので、そのような支援資料を抜粋すると、東京書籍においても、オールイングリッシュで、生徒にさほど負担なく指導ができるのではないかと思います。

小寺副会長：昨日新聞で、中学校で英検3級取得率を50%という政府の目標と実態が記事になっていました。広島県が46%くらいの取得率だったと思いますが、教科書でしっかり勉強しておけば、英検3級を取得できますか。

調査員：英検3級は中3レベルだと言われています。学校の授業ももちろんですが、英検の特徴に合わせた学習をしていく必要はあります。

小寺副会長：授業だけでは難しいところがあるということですね。

小川会長：今年度から小学校5、6年生から外国語が始まりましたが、小学校の外国語と中学校の外国語の接続が示されているという特徴的な教科書があれば教えてください。

調査員：東京書籍です。小学校でしっかり学んできているということを前提に、ユニット0で多くの時間を割いたりせずに、身に付けた力を中学校でも生かせるという考えの下で作られていると思います。丁寧に復習をしながら、中学校の学びに接続されていると思いました。

小川会長：調査員の方、ありがとうございました。
これより、協議を行います。

木谷委員：第5の観点②に着目してみました。各ユニットで学んだことを活用しながら、表現力の育成を図るという点で、調査員からも啓林館の紹介がありましたが、どの社もそういったところは工夫点としてあると思いました。調査報告書にありますように、教育出版にはやり取りに関わる学習活動が比較的少ないという記載があります。教育出版を実際見てみると、そういった視点では、若干分量的に少ないと思います。どの程度扱うかは、指導する側の腕にもよりますが、紹介のあった啓林館や東京書籍が学んだことを生かしながら表現力を育成していくという点では、特徴として考えられると思いました。

高石委員：身に着けた英語を使いこなすという点では、どの教科書会社もスピーチ、ディスカッション、プレゼンテーションなど、いろいろな工夫がしていますが、小中のつながりや、各他学年つながりという観点からみると、東京書籍のユニット0というのがどの学年にもあります。既習事項をもう一度やってみるという構成で、今まで学習を振り返るようになっていますが、ユニット0としてきちんと定着させて、既習事項を学び直し、次へのステップとされている点では、無理なく進めるうえで東京書籍はよいと思いました。

木谷委員：3学年分位置づけていますね。

高石委員：めずらしいと思います。活用して既習事項を復習できるというのはよいと思います。

木谷委員：授業でされるのだと思いますが、全て学年で位置図けているのは、どの指導者にとっても、高石委員がおっしゃられたとおりに有効だと思います。

伊藤委員：東京書籍の巻末に小学校で身に付けるもの、学年で身に付けるものがチェックできるようになっていて、良いと思います。他の教科書会社にあるかはまだ確認中です。

高石委員：他社のものにもあります。

行廣委員：東京書籍の3年生巻頭にSDGsの視点で、「英語を通じて見直そう」という見開きがあります。こういう視点を英語の教科書の中で書いている

のは良いと思います。国語、社会、道徳ではよくありますが、実際、英語を使ってコミュニケーションを取るわけですから、英語の教科の中でSDGsが押さえられているというのは良いと思います。

木谷委員：単語リストも見やすいです。どこの会社もリストは上がっていますが、見やすさという点では、視覚的に東京書籍は良いです。

行廣委員：教科書の大きさも違いがあるんですね。

小川会長：東京書籍については、特徴についてご意見を言っていただきましたが、他社はどうですか。

行廣委員：光村図書の3年、120ページをご覧ください。その場でスピーキングがあります。スピーキングに特化したものが7から8ページ分あります。即興的な会話につながる、特徴的なものだと思います。即興的な対話の中で、形容詞、形容動詞、動態、感情などを表す単語がかなりのページを使って記載されており、これらを使って会話が成立するのだと考えれば、力を入れられていると感じます。また、実際活用できると思います。

小川会長：ありがとうございます。時間も来ておりますので、評価は最後にさせていただきます、社会の報告を行ってみたいと思います。それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、社会科の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

初めに地理的分野から報告を行います。

まずは東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、思考ツールを活用し、まとめの活動を行うというところでした。

続いて教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、単元で学習した基礎的な内容をもとにまとめの活動に取り組むところでした。

続いて帝国書院の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに帝国書院の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、地図を活用して地理的な見方・考え方を働かせてまとめの活動を行うところでした。

続いて日本文教出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点視点は①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、いくつかの単元、もしくは節のまとめに、思考ツールを活用した「アクティビティ」が記載されているところでした。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

木谷委員：どの会社も第5の観点が特徴的であるとの報告ですが、ページを示しながら具体例を教えてください。

調査員：東京書籍ですが、「アジア州」の学習のまとめが72、73ページにあります。ここでは表を使って学習のまとめを行いますが、各まとめで、様々な思考ツールを活用したまとめの学習が掲載されています。

次に教育出版ですが、「アジア州」の学習のまとめが65ページにあります。単元で学習した内容の問題を解いたり、活かしたりしながらまとめを行うようになっていきます。

続いて、帝国書院です。同じく「アジア州」学習のまとめです。65ページにありますように、『『地理的な見方や考え方』を働かせて説明しよう』というまとめが、各節で設定されていることが特徴です。

最後に日本文教出版です。同じく「アジア州」学習のまとめが、57ページにあります。学習した内容を活用して問題を解いていくことが主なまとめの活動となります。加えて、すべての章ではないですが、アクティビティというまとめが設定されています。表やダイヤモンドランキング等の思考ツールを活用してまとめを行います。

高石委員：第5の観点以外に、もう一つ特徴的なものをあげると、どのようなものがあるか教えてください。

調査員：東京書籍は、第3の観点になります。270ページに「地域の在り方」とあります。ここは第2の観点とも関連がありますが、SDGs（持続可能な開発目標）を中心にしながら、これまで学んできた学習を深めていくものが設定されています。

教育出版は、第1の観点になります。日本の国境を巡る様々な動きについて、24ページの表にありますように、歴史的な背景や経緯がわかるように年表で示されています。

帝国書院は第1の観点の②になります。日本の領土にかかわる内容が20、21ページにあります。⑤の資料にありますように、領土問題に係わる島までの距離が数字で示されています。他の教科書会社にはない特徴的な資料であると思います。

日本文教出版は、第3の観点の①になります。264から273ページに「地域のあり方の学習」が設定されています。まちづくり会議を実施しながら、地域の課題の要因を考察し、まちがよりよくなるためにどうすればよいかを考えることができるような内容になっています。

小川会長：そのほか質問等ありませんか。それでは、続いて歴史的分野の報告をお願いします。

調査員：次に歴史的分野の報告を行います。

まずは東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、広島における戦後の復興について、資料の掲載に加えて、調べ学習を行うところです。

続いて教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、各単元で学習した内容を表や地図を使ってまとめ、それをもとに自分の言葉で表現する学習を行うところでした。

続いて帝国書院の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに帝国書院の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、単元のまとめに「ステップ」が記載されており、歴史的な見方・考え方を働かせながら、自分の考えをまとめる工夫がなされているところでした。

続いて山川出版社の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに山川出版社の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、章のまとめにおいて、時代全体を俯瞰して考えるための問いを記載しているところでした。

続いて日本文教出版の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、地域学習として草戸千軒町遺跡について歴史新聞を作る学習が記載されているところでした。

続いて育鵬社の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに育鵬社の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、まとめの活動において自分の言葉でまとめを表現する際に、手掛かりとなるような5つの活動を行うところでした。以上で歴史的分野の報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

小寺副会長：社会の歴史書の教科書で特に特徴的なところを見いだすのはかなり難しいです。まとめとか、思考ツールとかありますが。

伊藤委員：東京書籍では、広島について調べる学習が設定されるというところで276ページに調べ学習の流れについて掲載されていますが、他の教科書会社にも調べ学習をする際の流れ等が掲載されていますか。

調査員：調べ学習については、各教科書会社で形式は違いますが、設定している場合もあります。一つ例を挙げますと、教育出版では、各大單元ごとに設定されています。地域学習にかかわる、東京書籍の広島を扱うようなところでいきますと、10ページに「身近な地域の歴史を調べよう」が設定されています。ここでは、この教科書を通していろいろな調べ学習の基本的なスタイル、方法について示されています。テーマを決めて、小学校の時に学んだこととの関連、地域にある遺跡や文化財等の関連というところを、テーマとして決めた上で、12ページ

から情報収集の方法、図書館やインターネットの活用など、調査の方法が示されています。これをベースにしながら、各大単元で調べ学習を行うようになっていきます。それぞれの教科書で身近な地域を調べるというところを例に説明しているところが多いと思います。

小川会長：調べ学習の活動であったり、時代的な流れや、その背景をつかんだり、イメージを持たせたりするために、ICTの活用をいろいろ教科書会社が工夫されているのではないかと思います。そのあたりについて特徴的なものがあれば教えてください。

調査員：ICTの活用にかかわっては、一つ例を挙げますと、東京書籍の5ページにICTを活用した学習という2次元コードが載っています。これを読み取っていただくと、リンクが飛び、下に主なコンテンツの一覧があります。クイズや動画、シュミレーションなどで学習活動をおこなうことができます。教科書会社が用意したホームページを使いながら、活動ができるようになっています。授業等で児童生徒が一人一台タブレット端末を持っていれば、授業中にこういった動画を活用しながら授業を進めたりということもできるのではないかと想定されます。

行廣委員：歴史的分野は、中学校3年間を通して教育課程に明示されており、全学年で学習するものです。その中で単純にページ数や資料数のところを見ると、多い少ないがあるのですが、効果的な資料数や、3年間学んでいく上での難しい配列、よりよい配列として授業の自由度が上がるもの、主体的に学んでいくことができるものがあれば教えてください。

調査員：資料の配列や順番でいいますと扱っている学習の内容というか教えるべき事項に関しましては、基本的に同じものが採用されていると思います。写真の違いや年表の違い等がありますが、帝国書院は全体を通して見たとき、地図の資料が非常に充実しています。246、247ページに太平洋戦争関わるものについて、日本軍の進出方法が地図によって示されていたり、247ページには日本の植民地支配の様子が地図を使って説明されたりしています。単純に人数だけが表として載っていることも多いのですが、地図を活用した学習ができたり、空間的な捉えができたりします。こういった教科書会社特有の資料もあります。

小川会長：歴史的分野が終了しましたので公民的分野について報告をお願いします。

調査員：次に公民的分野の報告を行います。まずは東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は②

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①が特徴的でした。

さらに東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、福山市神辺町の取組みを例に、身近な地域の課題を踏まえた政治参加について考える学習を行うところでした。

続いて教育出版の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は②

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①が特徴的でした。

さらに教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、地域の課題を踏まえたまちづくりのアイデアを考える学習を記載しているところでした。

続いて帝国書院の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は①

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①が特徴的でした。

さらに帝国書院の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、大単元の導入において、見開き2ページの絵図を掲載し、この絵図に基づいた課題を提示することで学習に対する興味・関心を高め、学習の見通しを持たせているところでした。

続いて日本文教出版の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は①

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①が特徴的でした。

さらに日本文教出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、ニュースの内容を公民的な見方・考え方をを用いて考察するためにシンキングツールを活用した学習を記載しているところでした。

続いて自由社の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は②

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①が特徴的でした。

さらに自由社の教科書で最も特徴的なのは、第1の観点の視点でした。具体的には、身近な問題を例に対立と合意について記載しているところでした。

続いて育鵬社の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は②

第3の観点の視点は②

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は①

さらに育鵬社の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には、単元のまとめにおいて身近な地域の課題を思考ツールを用いて考える学習が記載されているところでした。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

木谷委員：具体的に最も特徴がみられたところをページを挙げて教えてください。

調査員：まず、東京書籍の第3の観点の視点は、118、119ページです。福山市神辺町を題材にした「身近な地域の課題と政治参加」が記載されています。

続いて教育出版の第3の観点は、122、123ページの「まちづくりのアイデアを提言しよう」というページです。川崎市の例が載っています。

続いて帝国書院の第2の観点です。1、2ページをご覧ください。どの大単元の前にもこのような見開き2ページに渡って絵図が示されており、導入の課題が設定してあるのが特徴です。日本文教出版の第5の観点は、174、175ページです。ピラミッドチャートを使ったまとめの例が載っています。続いて自由社の第1の観点です。36、37ページをご覧ください。生徒にとって身近な部活動を例にして対立と合意について書かれています。最後に育鵬社の第3の観点は、112、113ページです。静岡県浜松市と愛媛県松山市の例が載っています。

以上が具体的なページ数です。

小川会長：そのほかいかがでしょうか。

小川会長：東京書籍の第3の観点の②についてです。先ほどの118、119ページで福山市神辺町のまちづくりについて挙げられていましたが、このように近隣の市町が取り上げられているのは府中市の子供にとっても身近に感じることができるのでいいと思いました。こうした府中市近辺を取り上げた記載が他の教科書にもあれば教えていただきたいです。

調査員：調査をした限りでは、府中市に近い所の記載はやはりこの福山市の例が一番近いものだったと思います。広島県であったり、中国地方など大きいくくりになると、調べ学習ではないですが、地理との関わりで人口や気候などのデータ程度のもは見られました。ですが、ここまで具体的に身近な隣の福山市という地域を取り上げているのは東京書籍だけだと思います。

伊藤委員：先ほど、生徒にとって身近なところで部活動を例に話し合うという教材がありましたが、今見ていると他の教科書にも、学校のトラブルを解決するためにみんなで話し合おうや、みんなでプレゼンを考えようなどの記載がありました。このようにみんなで何かをにしましょうという題材がたくさんあるように感じたのですが、これは何か教科の目標に関係があるのでしょうか。

調査員：ここは対立と合意という小単元になるのですが、この小単元の目標に、日常生活の中での様々な意見の対立をよりよく解決していくためにはどんな方法があるのかというのを探求していくことがあります。部活動であれば実際に経験がある場合や、現在進行形でトラブルを抱えている生徒達がいる可能性があるため、生徒自身も自分の問題として考えることができます。このように、どの教科書会社も生徒にとって身近な課題をとりあげ考えやすくする工夫があると捉えています。

小寺副会長：社会の教科書というのは、思考ツールが多いように感じるのですが、この傾向というのは今回の教科書からですか。

調査員：これまでの教科書に全くないというわけではないですが、ここまで多くの教科書会社で採用されるようになったのは今回の改訂からではないかと思います。思考ツールを活用することによって、どの視点から資料を捉えたら良いの

かや、教科の見方・考え方を働かせた上での資料や文章の捉えが非常にしやすくなると思います。社会が苦手な子供達や資料の読み取りが得意ではない子への支援として、また学習内容をまとめる上での一つのツールとしての色々な活用ができるように思います。

小川会長：そのほか、いかがでしょうか。なければ、次の報告の方へ移りたいと思います。

調査員：最後に地図の報告を行います。

まず東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は①

第3の観点の視点は①

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は②

さらに東京書籍の地図帳で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には、キャラクターの吹き出しで地図の活用方法や読み取りのポイントを示しているところでした。

続いて帝国書院の特徴について、各観点で特徴的な視点をお伝えします。

第1の観点の視点は②

第2の観点の視点は①

第3の観点の視点は①

第4の観点の視点は①

第5の観点の視点は②

さらに、帝国書院の地図帳で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、地図中に関連したイラストを記載することで、地域的特色を視覚的にとらえることができるところでした。

以上で、地図の調査報告を終わります。

行廣委員：帝国書院は縦に大きくなっていますか。

調査員：縦に大きくなっています。

行廣委員：どういったところに効果がありますか。

調査員：純粹に地図の大きさは大きくなっているので、大きいので見やすいとい

うのは、教科書会社の注意事項に記載されているところです。これまでの地図帳より地図そのものが大きくなっているのので、以前のサイズですと、文字が小さかったり、緯線、経線、もしくは緯度、経度数字が読み取りにくかったところが、大きくなったことで、読み取りやすくなっています。例えば、103、104ページの大阪市中心部、京都市中心部の市街地の地図が大きいと、細かい通りですか、寺社仏閣や施設が読み取りやすくなっています。

行廣委員：確かに、緯度、経度の数字が全角、ゴシックになっていて、書体も変わっていますね。

調査員：数字だけでなく、地名の書体もかわっています。

行廣委員：かなり見やすくなっていますね。

調査員：世界の地図、日本の地図の国名や都市の書体が変わっています。

小寺副会長：地図帳というと帝国書院というイメージがありますが、東京書籍5、6、7、8ページもおもしろいですね。

調査員：東京書籍は5、6、7、8ページに書いてありますように、地図帳と合わせて、資料集としての活用方法も想定しているようです。純粹に地図としての活用もありますが、いわゆる地理の資料集としても活用するようご検討くださいと教科書会社から届いております。したがって、帝国書院は、いわゆる昔ながらの地図の側面が強いですが、東京書籍は、それに加えて、いろいろな問いや資料が、若干数多めに記載されていると思います。

木谷委員：帝国書院に資料はありますが、分量的により東京書籍の方が多いということですか。

調査員：はい。純粹的な地図の見やすさと情報量でそれぞれの特徴があります。

高石委員：今回、家庭学習の時間がたっぷりありましたが、自主学習を考えたときに、どちらが生徒にとって参考になりますか。

調査員：自主学習の点でいうと、先程お伝えした資料集的側面で、この地図を活用して学習するのであれば、東京書籍を活用することが考えられますし、帝国書

院に関しましては、6ページを開いていただくと、2次元コードが記載されています。2次元コードを読み取ることで、地図活用という問いが記載されていますが、回答の確認をしたり、コンテンツメニューを見たりすることができます。こういった形でICTを活用しながら学習を進められることが帝国書院のよさです。家庭学習において、それぞれメリットがあると思います。

木谷委員：二次元コードの話でいえば、東京書籍は設定されていないということですか。

行廣委員：3ページにあります。

調査員：下にあります。地理や歴史とありますように、「D」の記載があります。

小川校長：では地理的分野から協議を行います。

調査員からの報告書をもとに、その通りという意見でもいいですし、その他の点についてでも構いませんので、意見を出してください。

行廣委員：各社とも章末のまとめとして思考ツールがたくさん使われています。これをうまく活用すると、学びが大きく変わっていき、授業が面白くなると思います。しかし、使うことが目的とならないかが、危惧されるころだと思います。

木谷委員：調査員は第5の観点を最も特徴的な部分としてあげられました。第1の観点から第4の観点については、どれも工夫されていて、差異が見だしにくい感じがします。

思考ツールについても、行廣委員ご指摘の通り、使うことが目的とならないよう指導者が留意する必要があると思います。東京書籍、日本文教出版の思考ツールについては、効果的に使えば有効なものになると思います。

木谷委員：持続可能な開発目標について、報告書には記載がない会社もありますが、どの教科書にも記載があります。欠かすことはできない視点だと考えます。

小川会長：調査員から第5の観点以外での説明がありましたが、その点で意見があればお願いします。

木谷委員：東京書籍で、調査員が2番目の特徴としてあげた第3の観点①について、教科書の4章（270ページ）にありますように、探究的な学びの流れをつ

かみやすい構成になっています。どの教科書会社も最終章には同じようなものがありますが、探究的学びの視点で見ると東京書籍はうまくできていると思います。

行廣委員：東京書籍は、資料の見せ方等がうまいと思います。生徒たちがスムーズに学習に入れたり、自分事となったりするような資料の提示となっています。

小川会長：第3の観点で意見をいただきましたが、その他の観点でもいかがでしょうか。

行廣委員：地理的分野では、防災教育の視点があると思います。各社、東日本大震災、阪神・淡路大震災については触れていますが、日本文教出版は、中四国地方の単元で、南海トラフ巨大地震を想定して各地域で行っている防災対策を扱っています。このような防災教育の視点は必要だと思います。

小川委員：その他よろしいでしょうか。
それでは、評価をお願いします。

小川会長：続いて、歴史的分野の協議を行います。

小寺副会長：教科書会社によってキャラクターが出てくるものと出てこないものと二通りあります。3つくらいの教科書会社に出ています。疑問を投げかけたりしているが、子供にとってどうなのでしょう。

木谷委員：考える視点になるので、ありがたい子供もいるかもしれません。

小川会長：歴史的分野の説明の中で、第3の観点で東京書籍は、広島復興と平和について歴史の中で入っていたり、日本文教出版は、歴史博物館に関係することで福山市の草戸千軒町遺跡について記載があったり、生徒にとって実際に行っているところですので、身近に捉えることができるのではないかと思います。

木谷委員：掲載資料では何か特徴がありますか。第4の観点①について、調査報告書の数字だけは見ているのですが。写真資料などはどこも結構充実しています。

行廣委員：写真資料でいうと、東京書籍133点、教育出版は123点、山川151点あります。

木谷委員：育鵬社は人物が少し多いです。単純に数だけでは言えないのだと思うのですが、日本文教出版は年表を数多く使用して、何か切り口にできればとしているように感じます。

行廣委員：地域という視点では、東京書籍、日本文教出版が、割と広島県内の内容のことを取り上げていると思います。見比べてみたのは、近世江戸時代の朝鮮通信使の、鞆とか、蒲刈が当地になっていたということで、広島県に関わりがあるので、身近なところから学習に入っていくことができるという気はします。

高石委員：同じく第3の観点で東京書籍と日本文教出版は、小中のつながりという観点からも、東京書籍は小学校での学習内容を振り返る活動も示してあるということ、日本文教出版は、小学校との連携コーナーを設けて、小学校の学習とのつながりを示しています。府中市としては、小中のつながりに力点をおいているということで評価できると思います。

小野委員：福山とか広島が出ている教材は、行って調べようと思えば行くことができるので、資料だけでなく、実際にものを見ることができると思います。私もこの資料館に行ったことがあります。行って興味があれば、目視ができます。広島くらいまでなら家族にも連れて行ってもらうことができます。県とか市、近隣のことが載っていますし、保護者の目線から見てもいいと思います。

小川会長：小学校の社会見学などで行っているところがあると思います。それでは、歴史分野の評価をお願いします。

小川会長：よろしいでしょうか。続いて、公民的分野の各観点での特徴についてご意見をいただければと思います。

小寺副会長：先ほどの説明の中で、公民的分野では主体的に取り組む工夫が帝国書院の教科書でされているとありました。成人が18歳になったことで、公民に対する主体性がより問われてくる時代になってくるので、特に主体性の部分に重点を置く教科書というのが重要になってくると思います。卒業して3年もすれば成人になりますし、単に知識を教えるだけではないと思います。

小寺副会長：帝国書院はおもしろいと思います。わかりにくいところを工夫しているようにみえます。

小川会長：調査員の帝国書院の第2の観点「主体的の学習に取り組む工夫」のところが特色があるという報告について先ほどご意見がありました、そのほか調査員の意見と重複してもかまいませんので、ご意見をお願いします。

小川会長：先ほど18歳から選挙権があることも学習の内容に入ってくるため主体性が重要になってくるという話がありました。それに関わって、東京書籍の第3の観点が特色があるということでした。グループの活動が提示されており、政治参加をしてみようということで、身近なまちづくりといことで福山市神辺町の例が取り上げられていました。このような特色も子供たちに小寺副会長がおっしゃっていた力をつけるという意味で関係があると思います。

木谷委員：第3の観定の②について、各社タイトルや項目数は違いますが、どの教科書も学んだことを複合しながら自分ごととして捉えていくというようなことが準備されているように思いました。その中でも小川会長や小寺副会長が言われたように、身近な地域となればなおさら自分事として考えていくという意味ではすごく効果的なのではないかと考えます。

小川会長：そのほかいかがでしょうか。

行廣委員：公民的分野というのは、子供たちにとっては、一番取っつきにくい分野ではないかと思ひます。それを考えた時に、自学自習を含めて子供達に教科書として読みやすいというのを第一に考えたいと思ひます。先ほどの選挙権が18歳に引き下げられた件で言ひますと、例えば東京書籍の88、89ページのように具体的に選挙の流れが書かれていて、わかりやすいと思ひて見ていました。あと、東京書籍のフォントが読みやすいような気がしました。

伊藤委員：評価表にある「社会参画への意識を高める工夫」という観点で見た時に、東京書籍の122ページに「市長になって条例を作ろう」があったり、育鵬社の76ページには「市議会議員になって解決策を話し合ひましよう」など政治の仕組みを学べるような学習ができるのは良いと思ひました。また、このような学習で身につけたことを活かして、例えば生徒会などでの活用に繋げるのは良いと思ひました。

小川会長：そのほかいかがでしょうか。保護者の目線から子供達にこういうところを学んでほしいとか、各教科書の特徴を見て何かご意見があればお願いします。

眞田委員：やはり公民というのは、取っつきにくい分野だと思います。そういう意味でいうと育鵬社はマンガがあつて分かりやすいと思いました。そのほか、自由社もキャラクターが最後まで出てきて子供達が飽きにくい工夫がされていて良いと思いました。

小川会長：ありがとうございました。小野委員はいかがですか。

小野委員：府中市にはコミュニティースクールというのがあることから、まちづくりに参加しようという部分を探してみました。日本文教出版は写真が多くて分かりやすいと思いました。一方、帝国書院は字と絵が多く、文字だけで進めるのは少し受け入れがたい部分があるように思いました。やはり写真があると、進め方などが目で見て判断ができるのでまちづくりの部分で言うと、写真が多い日本文教出版の方が良いのではないかと思います。

小川会長：ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。無いようなので、評価表へ記入をお願いします。

小川会長：最後に、地図について、協議します。ご意見等、よろしくをお願いします。

小野委員：帝国書院は大きくて見やすいなと思います。後、調べることがあるのか分かりませんが、二次元コードが比較的多くのページにあるのがよいと思いました。二次元コードを使って、授業を進めていくことができるのであれば、二次元コードがあるほうがよいと思いました。

小寺副会長：東京書籍、帝国書院を比較すると、グラフが多いのは、東京書籍です。今求められている力に、情報活用能力があります。確かに、端末を使うという意味での情報活用能力もありますが、全国学力や入試問題を見ると、いろいろなグラフとか資料などを見ながら読み取る力等が問われています。その中で、地図帳を地図としてみるという面もありますが、グラフや表を入れてある方が、子供たちのグラフや表を読み取る力の育成には必要だと考えます。

行廣委員：確かに、今後、情報を読み取る力が求められています。読み取って判断していく力です。そういう意味では、東京書籍の地図は資料が多くて良いと思います。地図帳と資料集をセットで見たときに、よくできていると思います。

ただ、中学校1年生がいきなりこれを見たときに、色が落ち着きすぎているように思います。小学校の地図帳は、もっと鮮やかで帝国書院のような色彩で作られています。逆に、高等学校の地図帳は、東京書籍の色彩に近いです。6年生から中学校1年生に進級したときに、手に取って見やすいのは、帝国書院かと思います。また、東京書籍は帝国書院と比べると、地図が小さく感じます。例えば、17ページ、18ページの雨温図を実際に使うときに、もう少し、地図が大きかったらいいと思います。帝国書院では、11、12ページを見たときに、子供達がどちらを見てくれるかと考えたとき、帝国書院ではないかと思います。

高石委員：情報活用能力は大事というのはすごく分かります。ただ、情報を活用するために必要なことは、取捨選択する能力なのです。これが一番難しく、いくら情報が多くても、それを取捨選択できなければ、学習に活かすことはできないので、地図として活用するというように、よりシンプルな方が生徒にとって、より主体的な学習につながるのではないかと思います。資料がありすぎても、できません。まずは、少しずつ取捨選択する能力を、地図のどこを使って学習するのかを、段階的に進めていく方が生徒に力がつくと思いますので、帝国書院がよいと思います。

小寺副会長：取捨選択する力は大事です。

高石委員：情報活用能力は、一度にはつかないです。

小寺副会長：中学校1年生を考えると、情報が多すぎます。

高石委員：自宅の自主学習には東京書籍がいいと思います。

木谷委員：単純に地図の見やすさでいうと差があると思います。

小川会長：それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

小川会長：短時間での調査報告及び選定協議でしたが、たくさん御意見を出していただき、充実した内容となりました。

小川会長：以上をもちまして、第3回選定委員会を終了いたします。ありがとうございました。

府中市教科用図書採択地区選定委員会

会 長 _____ 印

副 会 長 _____ 印

選定委員 _____ 印